

平成30年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代老人福祉センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	老人の健康の増進、教養の向上等を図るため川西市久代老人福祉センターを設置する。
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目12番16号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人の生活相談に関すること。 (2)老人の健康相談に関すること。 (3)老人の教養の向上のための講習会、講演会等の開催に関すること。 (4)老人のレクレーションのための支援及び老人クラブ活動の推進に関すること。 (5)施設使用の許可、その取り消し、その他センターの使用に関すること。 (6)施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (7)開館時間及び休館日の変更に関すること。 (8)その他、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成34年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	評価区分	A
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	なぜその評価に至ったか(説明)	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	老人福祉法や市条例に則り、卓球や健康体操、フラダンス、囲碁、将棋、大正琴、カラオケ、生け花、ヨガなど趣味の会の活動を支援し、講座や行事を開催し、老人の健康の増進、教養の向上に、成果を得ることができました。また、施設を最大限に有効活用できるよう日時調整等を行いました。	A	施設設置の目的に沿って、体操や囲碁など心身の健康増進、教養の向上など施設を最大限に活用できるよう対応しています。			意見なし
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時に身分証等の提示を求め、年齢と川西市在住であることを確認し、登録手続として、住所、氏名、生年月日、緊急時連絡先などを記入していただき、施設の説明をしました。趣味の会に参加ご希望の場合は、見学後、代表者の方から詳細を説明しています。	A	他市と隣接している地域柄、身分証で市民の確認を実施の徹底や緊急連絡先の確認など、不測の事態に備え、適切に対応しています。			意見なし
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	開催事業等を市の広報誌や老人福祉センターのホームページに掲載し、館内にも掲示しました。また、職員が利用者に直接、行事への参加を呼びかけ、その結果、知り合いや友人に輪が広がり、行事参加者増に繋がることができました。	A	新規講座の開設や行事の周知徹底などで利用者増は見ましたが、一方で全体の利用者数は減少基調です。引き続き施設利用者増に向けた取り組みをお願いします。			意見なし
<課題>		利用者が減少傾向のため、新規利用者の確保が必要です。		広報やホームページのみならず、地域等との連携による周知などを検討して下さい。			意見なし
<改善内容>		利用者確保のため、新規講座「ピラティス」「いきいき歌声講座」を開設しました。また、内部監査を継続し、法令遵守に努めます。		新規講座の開設などの成果で利用者数が増加に転じています。引き続き利用者増の取り組みを続けてください。			意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	趣味の会は多種多様で、老人の健康の増進、教養の向上が図れました。また、悩みごとなど生活相談も受けています。施設として、地域の「どんとまつり」にも参加し、地域共生につながっています。	A	多様な講座を開催され、他機関と連携のもと生活相談等の場を提供や、地域活動に参加されるなど、地域共生につながるが活動にも取り組んでいます。			意見なし
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	「敬老のつどい」や「カラオケ発表会」、健康相談事業としての「誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア」についての講演を開催し、参加者数の増加に努めました。また、地域交流として、地元自治会の老人活動や総会に部屋を利用していただきました。	A	施設主催の講座や講演を積極的に開催されると共に、地域の老人会の総会等場所の提供など、地域交流を実施するなど、柔軟に対応されておられ、工夫が見られます。			意見なし
<課題>		地域に密着しており、地域の状況が施設の利用状況に反映されます。利用者の高齢化に伴い、趣味の会グループの構成人数が減じ、年間利用者数の減少が課題となっています。					意見なし
<改善内容>		世代間交流事業として「マジック講座」や昨年好評だった「春のミニコンサート」を開催しました。地域の老人会と南包括支援センターが行う健康事業にも部屋を提供しました。					意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	5月18日から22日までの間に個人利用や趣味の会等で来館された方々に無作為にアンケート調査を実施しました。	A	毎年定期的にアンケートも実施され、ニーズの把握に努めています。			意見なし
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケートでは「友達ができ、嬉しい。」「手足の痛みが和らぐ。」等の声をいただきました。利用者の高齢化の進む中、安全に利用できる施設を永く持続できるよう努めてまいります。	A	アンケートの意見からは、施設に対する適切な声をいただけるなど、良好なサービス提供体制が推察されます。			意見なし
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	平成30年度は苦情はありませんでした。苦情・相談に対しては、誠意をもって、迅速に対応し、努めて丁寧な説明に心掛けています。必要に応じて川西市に指示を仰いでいます。	A	苦情は発生していませんが、第三者による苦情処理会議に参加されるなど適切に対応しています。			意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	日々の活動時から声をかけ、コミュニケーションをとることで、利用者の本音の意見を引き出すよう努めています。敬老のつどいは事前に会議を行い、利用者の意見を反映できるよう努めました。	A	利用者の声を反映させて、新たな講座を開設されるなど、適切に取り組んでいます。			意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	地域の老人クラブ活動の推進のため、老人会や自治会の活動の場所を提供し、地域活動(健康事業)の場所として利用していただきました。	A	講座等のみならず、地域の団体と連携するなど、新たな取り組みを進めています。			意見なし
<課題>		自家用車での利用を希望される方がおられますが、駐車スペースが少なく、利用が難しい場合があります。また、地域の老人会の定期的な活動の場として利用の希望があります。		特にありません。			意見なし
<改善内容>		地域の定期的な健康事業活動を趣味の会の健康活動として次年度より登録利用いただくこととなりました。		特にありません。			意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)					
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A					2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A		A					(2-1) 経費の節減	
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	年間を通じて高額となる水道光熱費について、職員各自が意識して利用者がいない時間、部屋の照明や空調のスイッチを切るよう、周知徹底しています。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、退室時の消灯の協力を依頼しました。	A	経費節減に対して職員のみならず、無理のない範囲で利用者の協力を得ながら積極的に取り組んでいます。				意見なし	
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	常に経費節減を意識して、修理や物品購入時は、必ず相見積りを行いました。また、各種備品購入においても、近隣のホームセンターなど安価で購入できる商店を利用するよう心がけました。	A	経理規定に沿い、高額商品購入時の合い見積もりなど適切に対応している。また消耗品等の購入も安価な業者に依頼するなど徹底しています。				意見なし	
< 課題 >		建物は築30年以上が経過しており、老朽化と劣化が進行し、今後は修繕費の増加が見込まれます。必要に応じて川西市と協議しながら取り組みます。		適切な施設管理を実施し、問題点を把握し、計画的に進める必要があります。				意見なし	
< 改善内容 >		清掃業務委託について、シルバー人材センターの設立趣旨に賛同し、清掃業務すべてを委託していましたが、高齢者が直接される通常清掃以外のワックスがけやガラス清掃等を一般清掃会社との相見積りにより、安価な業者に委託しました。		清掃業務の委託費削減に散り組むなど、経費削減に取り組んでいます。				意見なし	
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし					(2-2) 収入の増加	
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
② 収入の増加など取り組みの効果が得られたか。									
< 課題 >									
< 改善内容 >									
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし					(2-3) 収支のバランスなど	
① 収支のバランスは、適切であったか。									
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。									
< 課題 >									
< 改善内容 >									

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A			A		
(3-1) 管理運営の実施状況	A			A		
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	所長(兼務)1人、指導員2人、事務員(兼務)1人が配置されています。現場で業務を円滑に運営するには、併設の児童センターとの連携が必要です。		A	併設のメリットを生かし、児童センターと協力しながら業務に取り組んでいます。	
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	「普通救命講習Ⅲ」に参加しました。内部研修として「マタニティハラスメント」「パワーハラスメント」の研修を実施しました。		A	施設の特性に応じた内部研修を実施するなど、積極的に参加しています。	
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	高齢者の利用する施設として、夏と冬の温度管理には細心の注意を払いました。また、夏場は、健康管理において、水分補給を促し、職員が個々の利用者に声掛けをしました。		A	利用者の身体的特性に配慮するとともに、啓発活動も積極的に行っています。	
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	経費節減面から土曜日休館を検討しましたが、児童センターは開館との判断されたことで、スクイール利用者へのサービス維持のため、老人福祉センターも開館となりました。		A	経費節減のみならず、利用者の視点に立った運営が必要です。今後も利用者本位を維持しながら良好な管理運営に努めてください。	
< 課題 >		事業の円滑な運営と事故防止のため、老人福祉センター職員と児童センター職員は、常に相互に業務を調整し、協力して事業を行うことが必要であると考えています。			併設施設と連携を取りながら、サービス提供の質が低下しないよう配慮しつつ、より柔軟な人員配置に努めてください。	
< 改善内容 >		公共の施設として相応しい対応ができるように、老人福祉センター職員と児童センター職員が行う相互協力を継続して行います。			施設間での相互協力を通じて、利用者満足度の維持向上に努めてください。	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A			A		
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時、川西市を住所地とするかを書類提示で確認の上、登録していただきます。開館前に来た人は時間まで椅子に座って待機をお願いしています。閉館時間は放送を通してお知らせしています。臨時休業時は利用予定者には事前に連絡しています。		A	市の関連施設として、川西市の確認を徹底されておられる。また、荒天時の臨時休業時も事前に周知するなど、適切に取り組んでいます。	
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施設の施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止する事を職員に徹底しています。		A	個人情報を鍵付き書庫への保管を徹底するなど、適切に取り組んでいます。	
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	転倒防止のため、廊下など動線上に障害物を置かないよう、常に気をつけています。また、避難路の確保のため、小さな荷物も置かないよう、職員や利用者には注意喚起を徹底しました。		A	子どもや高齢者などの利用者の特性に配慮し、注意喚起を行うなど、安全対策の徹底に取り組んでいます。	
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	終業後や夜間、休日の警備は、アルソックに委託しています。火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を消防署立会いのもと行い、必要な指導を適時受けました。		A	休日夜間などは専門業者に委託。火災との訓練も利用者と一緒に取り組むなど、適切な危機管理体制をとっています。	
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガの場合、体調不良の場合など)、避難災害時はマニュアルどおり対応しています。		A	様々な場面を想定した対応マニュアルを整備され、リスク管理に努めています。	
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	趣味の会には、利用の手引きを作成し、平等で、独占的に日程や部屋を取れないことを説明し、理解を得ています。個人の健康器具利用は、20分で交代するよう、タイマーで電源の設定を行っています。		A	日程調整やタイマーでの健康器具対策など、利用の平等性に配慮して対応がとられています。	
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当				
< 課題 >		他の老人福祉センターの利用者で、暴風雨時帰宅中、転倒され救急搬送された報告がありました。警報時には、閉館する対応の検討が必要です。			安全な施設利用の観点から、荒天時などの烏煙柴について再検討が必要です。	
< 改善内容 >		令和元年度中に、川西市社会福祉協議会として、市に提案し、早急に対応したいと考えています。			事故再発防止の観点から、法人として統一した対応を早急に確立してください。	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A		A		
・評価できる内容	<p>講座の健康体操、ピラティスや趣味の会の健康体操、ヨガ、骨盤体操、百歳体操の参加。及び、ヘルストロンは血流回復効果があり、介護予防になっています。また、児童センターとの併設である利点を活かし、囲碁クラブ、赤らちゃん交流会、ハロウィンなど11種類の独自の世代間交流を継続して実施しています。</p> <p>また、歌謡ダンス、囲碁、将棋、ダーツ、卓球、カラオケ、詩吟など20の登録グループ約300人に対して、日時・場所などの調整を行い、施設として最大限の支援を行いました。平成30年度は、大きな事故やトラブルもなく円滑に事業を進めることができました。</p>		<p>老人福祉センターとして様々な講座などを実施し、登録グループに対しても調整など適切に対応しています。また、児童センターとの併設との特性を生かし、世代間交流に取り組みられるなど利用者から良好な評価につながっています。</p>		意見なし
・平成30年度に改善した内容	<p>平成30年度において、講座の健康体操は継続し、講座のシニアヨガは希望が多く、趣味の会のシニアヨガとして新たに発足、講座のスポーツ吹き矢は終了とし、新しく講座として、シニア向けの「ピラティス」と「いきいき歌声講座」を開始しました。また、健康相談の講座として、身近なテーマの『誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアについて』を地域の正愛病院と連携して実施しました。</p>		<p>新たな講座を開設されるなど、利用者の要望にこたえる形で対応しています。また、利用者の身近な問題であるテーマを選択し、地域の関係機関と連携しながら開催するなど施設の目的に沿った施設運営に努めています。</p>		意見なし
・平成30年度に改善したことによる効果	<p>施設主催の3講座は人気があり、定員を上回る状況で利用者数増加に繋がっています。</p>		<p>新規講座の開設などを通じて、減少傾向だった利用者数が若干ながら上昇に転じています。</p>		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点	<p>ここ数年間、趣味の会は、グループ数はほとんど変わりませんが、地域の高齢化が施設利用者の高齢化に直結しており、グループ内の人数に減少傾向がみられます。</p>		<p>登録グループ内の人員減少が近年問題視されていることから、他の視点から利用者増への取り組みが必要となります。</p>		意見なし
・改善方法とその時期	<p>新規利用者獲得を目指し、「敬老のつどい」「カラオケ発表会」などの趣味の会のグループ間の交流や人気講座の継続などにより利用者を確保し、利用者への継続的な声かけや市広報、ホームページでの情報発信を実施することで利用者の拡大を図っています。</p>		<p>新規利用者開拓のため、様々な手段を活用し周知に努めてください。</p>		意見なし

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。